

2012年1月号 No.77 毎月1日発行

リサイクル工房だより

あったかホールニュース 発行：ボランティア集団・リサイクル工房

仙台白菜
おいしい秘密

凍てよし煮込んでよしの愛され野菜
漬けてよし煮込んでよしの愛され野菜

日本の白菜産地化の中心地である宮城県は、大正時代から朝市のはじめから、全国で最も生産量が増え続けてきた歴史があります。仙台白菜は、その歴史の中で培われてきた独自の栽培技術と、豊かな自然環境が育んだ、甘みと歯ごたえが特徴的な白菜です。

「プロダクト」をきっかけに生産者・メーカー・流通・教育、そして消費者が連携した「食の新しい開拓」が実現し、農産物産出の大切な一歩だと感じています。高級ごとの価格を大切にしながら、消費者が納得できる価格を実現し、地域野菜として次世代へ伝えていきたいと思います。と語るJA全農みやぎの大宮直子さん。

「プロダクト」をきっかけに生産者・メーカー・流通・教育、そして消費者が連携した「食の新しい開拓」が実現し、農産物産出の大切な一歩だと感じています。高級ごとの価格を大切にしながら、消費者が納得できる価格を実現し、地域野菜として次世代へ伝えていきたいと思います。と語るJA全農みやぎの大宮直子さん。

「プロダクト」をきっかけに生産者・メーカー・流通・教育、そして消費者が連携した「食の新しい開拓」が実現し、農産物産出の大切な一歩だと感じています。高級ごとの価格を大切にしながら、消費者が納得できる価格を実現し、地域野菜として次世代へ伝えていきたいと思います。と語るJA全農みやぎの大宮直子さん。

『河北新報』に掲載されていた広告 寒冷地育ちの野菜はすべてとても甘くて美味しかった

☆ あったかホール1月のイベント ☆

- ◎ あったか元気倶楽部：5・12・19・26 (木曜)
※、第一部：13;30~14;50 第二部：15;10~16;30
- ◎ かんたんエアロビクス：16 (月曜)
- ◎ おとなのクロール・おとなのプール入門：18・25 (水曜)
- ◎ 土日・祭日：ミニフリーマーケット
- ◎ 23 (月) 24 (火)・30 (月) 31 (火) の両日は臨時休館となります。

☆俳句教室十二月一週選句☆

こまやかに 日射しを入れて
毛糸編む けんじ

風の子の 老いて炬燵の
人となり 雅子

山眠る 小さき軒
風の音 康一

やり残して おけぬ仕事や
十二月 環

凍て空に 大輪描く
薦かな 英雄

三味復習 小春日和を
帰りに 畔

着ぶくれて 朝市のばば
売り上手 敏子

ピンポンと 師走が届く
宅配便 正明

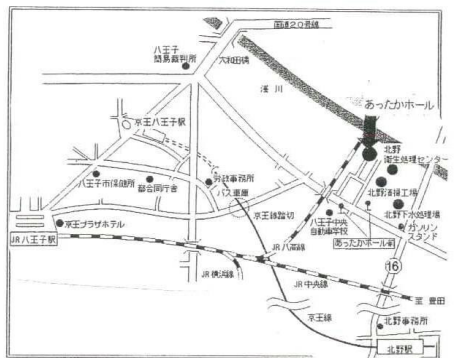
小春日に 重み増したる
上臈 円通

<交通のご案内>

バス：JR八王子駅北口から⑥番乗り場、又は京王八王子駅（ドコモのビル脇）より八王子車庫行乗車「あったかホール前」下車。

徒歩：JR八王子駅から20分
京王八王子駅から15分
北野駅から25分

はちバス東部コース「あったかホール」下車



明けましておめでとーうございます。皆様のご多幸とご健康をお祈りいたします。昨年は災禍に明け暮れ、普通に生活ができることの有難さを思い知らされました。「悪いことばかりは続かない」と言われます。混乱の後には平穏、拙政の果てには賢政が待つと信じ願っています。そして被災地復興のスピードアップを切に願っています。

風雨同舟

石巻の親戚が津波で家を流され職場も奪われてしまった。家族が無事であったことは不幸中の幸いでした。急場凌ぎに役立ちそうな寝具・衣類・食器などを送った。昨年暮れお礼にと自家製野菜（白菜・大根・キャベツなど）が届いた。被災地から野菜を送っていただくなどあまりのことに導いた野菜を前に胸が詰まった。野菜は十二月十五日の現地新聞『河北新報』に包装されていた。そこに特集記事があり証言・戸倉中（南三陸町）とあり「避難所揺らぐ安全性」「安心信じた校庭水没」と生々しく緊迫感ある見出しが目飛び込んできた。そろそろ十か月が経とうというのに現地の様子は徐々に回復するよう感じられる。不自由な仮設住宅で迎えた新年を想像し胸が痛む。被害に遭った神社は八十位？だったか。地域で慰霊・祈り・願う所も失ってしまいい海に昇る太陽に手を合わせていた方々が映されていた。初詣では自己願望に加えて震災復興を願った元旦だった

ボランティア 吾味源